



**まちづくりに活用してほしい
町に100万円を寄附 青山悟さん**

まちづくりに役立ててほしいと町へ100万円を寄附した青山悟さん（御園）に佐々木学町長から2月6日、感謝状が贈られました。青山さんは、農業委員や学校評議員などを歴任し、現在は民生委員・児童委員として町のために尽力されています。佐々木町長は「まちづくりのために大切にに使わせていただきます」と感謝を述べました。



**迅速な対応で人命救助
南空知消防組合が大野靖二さんへ感謝状**

迅速で的確な救命処置により、薬局内で倒れた男性を救った薬剤師の大野靖二さんに南空知消防組合（吉川道也消防長）から1月27日、感謝状が贈られました。少林寺拳法の指導者でもあり、日ごろの役に立ってほしいと教え子たちに伝えている大野さんは「講習を受けていたことが役に立った。日ごろの訓練が大切」と話しました。



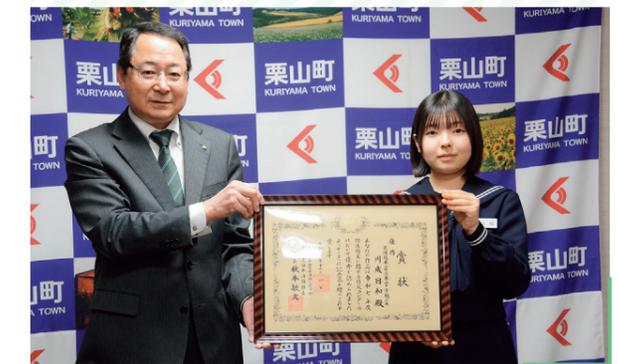
**子どもたちの笑顔のために
さらさらレッドとスマイルボール寄贈**

美味しい玉ねぎを子どもたちに食べてもらおうと1月22日、株式会社植物育種研究所（岡本大作代表取締役）とハウス食品グループ本社株式会社アグリビジネス推進部（朝倉健吾推進部長）が玉ねぎ計86kgを町に寄贈しました。寄贈された「さらさらレッド」と「スマイルボール」は1月の学校給食にサラダとして提供されました。



**道内23年ぶりの快挙！
全国大会で佳作受賞の川成日和さん**

栗山中3年の川成日和さんが、第25回「防火防災に関する」作文コンクールで佳作を受賞し、1月19日、佐々木学町長に受賞の報告を行いました。消防団の重要性をつづった川成さんは「多くの人にこの作文を読んでほしいです」と喜びを語り、佐々木町長は、「防火防災への真摯な決意に深く感銘を受けました」と受賞を称えました。



**雪に刻む、最高の瞬間
第72回全町スキー大会**

昭和29年から続く伝統の「第72回全町スキー大会」が2月8日、北長沼スキー場で開催されました。小中学生40人が参加し、2本の滑走のうちベストタイムで順位を競い、最後まで諦めない全力の滑りを披露しました。また、競技後は表彰式のほか抽選会も行われ、選手や保護者ら大勢の関係者が競技を通じて親睦を深めていました。



**集大成の冬、いざ全国へ
全国高校スキー大会出場の日野真莉愛さん**

1月に小樽市で開催された南・北北海道高校スキー大会で好成績を収めた、栗山高3年の日野真莉愛さんが、アルペン競技2種目の全国大会出場を決め、1月30日に佐々木学町長と吉田政和教育長を表敬訪問しました。日野さんは「高校生最後の全国大会となるので、自分の滑りをしてベストを尽くしたい」と意気込みを語りました。



**伝統を継承し最新設備で新たな歩み
小林酒造新蔵竣工式**

株式会社小林酒造（小林米三郎社長）で1月27日、105年ぶりに建てられた酒蔵「八番蔵」の竣工式が行われました。八番蔵には太陽光パネルが備えられ、使用する電力の半分以上を自然エネルギーで賄うことができます。最新の空調設備なども導入され、さらなる高品質を目指します。



**南部地区で安心して診療を
栗山赤十字病院による巡回診療**

南部公民館で1月22日、地域住民の安心な暮らしと利便性を支えるため栗山赤十字病院による巡回診療が始まりました。無医地区となった南部地区の住民や、医療関係者との意見交換を重ね実現したもので、医師の診察に加えオンラインでの薬の処方も行われます。今後は、毎月第2木曜日の午後の実施を予定しています。

